

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	中央図書館長 栗原章郎	
教育-52	図書館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	中央図書館
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	図書等資料を収集、整理・保存して市民等の利用に供し、市民等の教養、調査、研究及びレクリエーション等に資するため。
効果	市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上を目指すとともに、調査・研究等に活用されること。

2 令和4年(2022年)度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館を安全で快適に利用できるよう、空調設備改修、ブラインド修繕、照明器具LED化修繕などを実施した。 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、効果的な資料収集を図り、市民ニーズに即した貸出業務、インターネット予約などを実施した。 図書館長の諮問機関としての図書館協議会の運営を行った。 第3次鎌倉市図書館サービス計画・第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進するとともに、第4次鎌倉市図書館サービス計画・第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を策定した。 会計年度任用職員を含め研修を充実させ、次世代を担う職員の育成とスキルアップを図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	図書館協議会運営事務	図書館協議会の開催(報酬)	—	— / —	116 / 126	126	—
02	図書館運営事務	図書館資料収集(消耗品費、賃借料)	図書館利用者数	633,728 / 860,000	59,216 / 61,866	66,643	73.69%
03	図書館維持管理事務	図書館施設管理(光熱水費、委託料)	定められた休館日以外の常時開館率(%)	98.1% / 100%	17,466 / 16,645	23,512	98.12%
04	図書館維持修繕事務	図書館施設維持修繕(維持修繕料、工事請負費)	定められた休館日以外の常時開館率(%)	98.1% / 100%	22,669 / 3,257	2,007	98.12%
05	図書館振興基金管理事務	図書館振興基金管理(積立金)	—	— / —	6,082 / 8,160	6,253	—
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/	0	
			地方債	14,600 / 0		0	
			その他特定財源	7,208 / 9,287		17,663	
			一般財源	83,741 / 80,767		80,878	
			事業費の合計(千円)	105,549 / 90,054		98,541	
		人件費(千円)			218,689	195,643	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	22.8	22.8	22.8	19.6		
会計年度任用職員	33.0	33.0	35.0	33.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	図書館協議会運営事務	図書館協議会は図書館の運営に関する図書館長の諮問機関であり、指標の設定になじまない。	図書館運営に寄与しており、実施事業として妥当である。	図書館協議会のリモートでの開催については調整ができていないため、協議会の中で検討していく。
02	図書館運営事務	図書館運営にあたり、図書館利用者数を指標とする。	図書館事業を行っていく上で、必要である。	限られた資源の中での図書館運営となっている。今後も運営上の工夫を図り対応していく。
03	図書館維持管理事務	図書館の施設維持・管理を行い、施設の不具合による休館をなくしていく。	図書館の運営上必要な経費であり、実施事業として妥当である。	施設の老朽化により、費用の削減が困難な状況となっているが、計画的に維持管理を行い市民の利用に支障のないように対応していく。
04	図書館維持修繕事務	図書館の施設維持・管理を行い、施設の不具合による休館をなくしていく。	図書館の運営上必要な経費であり、実施事業として妥当である。	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増加しているが、計画的に修繕等を行い市民の利用に支障のないようにしていく。
05	図書館振興基金管理事務	図書館振興基金は、本市の郷土資料をはじめとする貴重な図書館資料の収集、保存及び保管並びにそれに要する図書館設備の充実その他の図書館事業の振興を図るための財源であり、指標の設定にはなじまない。	貴重な図書館資料の収集、保存等に大きく寄与している。	特になし。
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー
		○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している ファンタスティック☆ライブラリー実行委員会 地域の市民団体

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
次世代を担う司書を採用し、持続可能な図書館運営を図っていく。					
図書館の所蔵資料に限りがあるため、利用者からの要望に対して他の図書館から借用して貸し出すこともあり、即座に対応できていないケースもあるが、今後も資料費の確保を図り利用者のニーズに対応していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	個人貸出点数						単位	点
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
蔵書の充実を図り、多くの市民に図書館を利用してもらうため	目標値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000			
	実績値	1,074,789	1,363,506	1,332,113				
	達成率	71.7%	90.9%	88.8%				

指標(単位)	図書館の蔵書新鮮度(新規受入点数/蔵書点数)						単位	—
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
蔵書にして数年間によく利用されることから、新しく蔵書にした資料の割合を高めることが図書館の魅力につながるため。	目標値	4.5	4.5	4.5	4.5			
	実績値	4.2	4.2	3.9				
	達成率	93.3%	93.3%	86.7%				

指標(単位)	来館者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
図書館への来館目的は、館内閲覧、利用者インターネットの利用など、貸出を伴わないことも多いため。	目標値	860,000	860,000	860,000	860,000			
	実績値	508,077	644,453	633,728				
	達成率	59.1%	74.9%	73.7%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	宅配サービス							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	×	×	×	○	○	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	より多くの市民等に図書館を利用してもらうため、利用者のニーズに合わせたサービスの充実を図る。
----------------------	------------------------------------------------